

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年1月～)の動向(表①参照)

・直近(3/16週)の販売個数は、牛乳：前年同期比106.9%、成分調整牛乳：同86.4%、加工乳：同182.5%、乳飲料：同107.6%。

牛乳類では同105.9%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳：189.3円、成分調整牛乳：173.4円、加工乳：182.8円、乳飲料：150.5円。

(2)引き続き在宅勤務や一部地域での外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要の増加によって堅調に推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

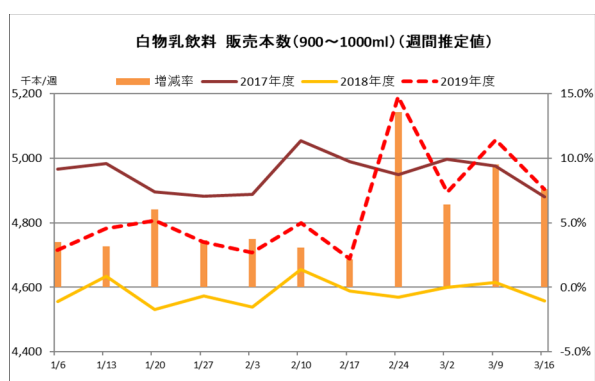
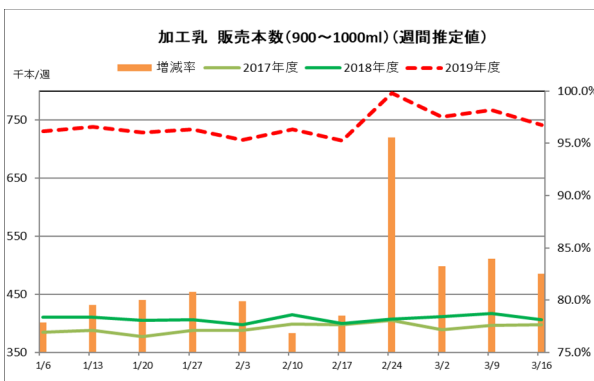
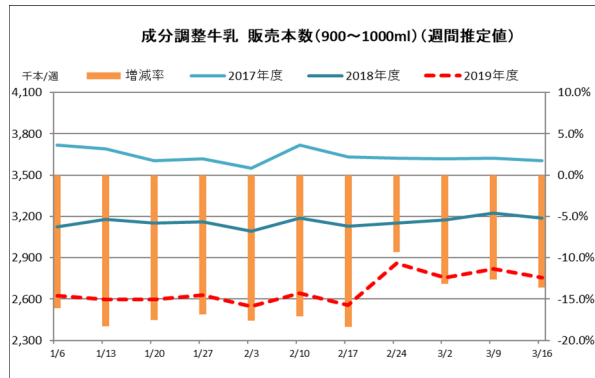
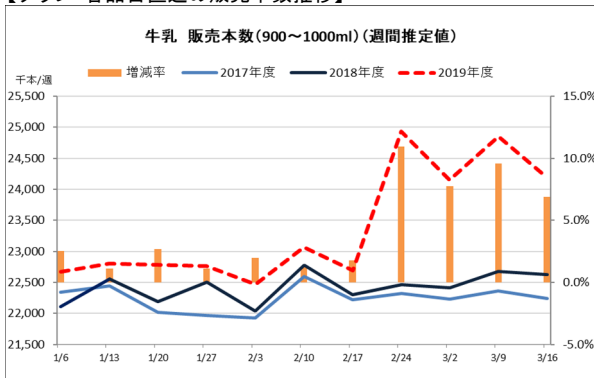
《補足事項》

- ・下記表①については、家庭用製品の実績であり、業務用牛乳については、新型コロナウイルスの影響による外出自粛やインバウンド減少に伴う外食や観光業等の需要の落ち込みの影響を受け、大きく減少していると考えられる。
- ・引き続き業務用牛乳・乳製品の需要は低迷している一方で、生乳生産量は6月のピークに向けて増加してゆくタイミングであり、今後も需給調整については予断を許さないことから、継続的な需要拡大の取り組みが必須である。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-
トータル	販売個数	30,740	30,915	30,916	30,863	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590
	販売個数前年比	101.8	100.5	102.1	100.7	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9
	販売単価	181.9	181.4	181.3	181.5	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0
牛乳	販売個数	22,670	22,800	22,782	22,760	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190
	販売個数前年比	102.6	101.1	102.7	101.1	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9
	販売単価	189.6	189.0	188.9	189.1	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3
成分調整牛乳	販売個数	2,623	2,595	2,599	2,629	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756
	販売個数前年比	83.9	81.7	82.5	83.1	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4
	販売単価	172.8	172.8	172.7	172.6	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4
加工乳	販売個数	731	738	729	734	716	734	714	796	755	767	741
	販売個数前年比	177.9	179.7	180.2	181.0	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5
	販売単価	183.2	182.5	182.3	181.4	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8
乳飲料	販売個数	4,716	4,782	4,806	4,740	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904
	販売個数前年比	103.5	103.2	106.0	103.6	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6
	販売単価	149.6	149.8	149.6	150.0	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売動向(推定):(一社)Jミルク調べ】

(1) 機能性ヨーグルトを中心に免疫力アップに対する期待や、牛乳類と同様の理由によって、引き続きドリンクタイプを中心に堅調に推移している。

「補足事項」

下記表①については、家庭用製品の実績であり、ヨーグルト類も牛乳類やその他乳製品と同様に、業務用については、新型コロナウイルスの影響による外出自粛やインバウンド減少に伴う外食や観光業等の需要の落ち込みの影響を受け大きく減少しているものと考えられることから、引き続き状況を注視するとともに、需要拡大に取り組んでゆく必要がある。

【表① 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-
ドリンクタイプ	↘	↓	↓	↘	↘	→	↗	↑	↗	↑	↑
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↗	↘	→	→
大容量タイプ	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↑	→	↗	↗

↓	: 前年比90%未満
↘	: 前年比90%以上100%未満
→	: 前年比100%以上105%未満
↗	: 前年比105%以上110%未満
↑	: 前年比110%以上120%未満
↗	: 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

(本データの収集・分析は、2019年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。)